

梅津美治郎 **陸軍軍人。華北進出の端緒開き、新統制派の代表として手腕、最後の参謀総長として降伏調印に参列。**

うめつよしじろう
新体詩抄・・1882 =

大分県に生まれ、
是永家から梅津家の養嗣子となった。

帝国憲法発布1889 = 7歳 :

足尾鉞毒始・1891 = **9歳** :

日清戦争始・1894 = 12歳 :

ピアノ国産化・1900 = **18歳** :
中学済々黌、
熊本地方幼年学校を経て、

日比谷公園・1903 = 21歳 : **第15期生として陸軍士官学校を卒業。**
日露戦争始・1904 = 22歳 : 歩兵少尉に任官すると同時に、**第1師団の小隊長として<日露戦争>に出征。**
日露戦争終・1905 = 23歳 :

伊藤博文暗殺1909 = **27歳** :

大逆事件判決1911 = 29歳 : **陸軍大学校を首席で卒業して参謀本部に配属されて以後、**
明治天皇没・1912 = 30歳 :

ドイツ・デンマーク駐在、
スイス公使館付武官、
軍務局課員、

本格政党内閣1918 = **36歳** :

歩兵第3連隊長、

原敬首相暗殺1921 = 39歳 :

参本課長、

金融恐慌・・1927 = **45歳** :
共産党事件・1928 = 46歳 : **軍事課長と順調に累進し、**

海軍軍縮条約1930 = 48歳 : 少将に進級、**参本総務部長を経て、**
満州事変・・1931 = 49歳 :

帝人疑獄事件1934 = 52歳 : **支那駐屯軍司令官となる。**

芥川直木賞始1935 = 53歳 : ***日本の華北進出の第一歩となった梅津・何応欽協定を結び、一躍その名を知られる。**

二二六事件・1936 = **54歳** : **きわめて級密・冷静な事務家型軍事官僚の一典型であったが、*<二・二六事件>勃発当初、動揺した幹部が多かった中で第2師団長としていち早く反乱軍討伐の意志を宣明し、事件終結後の肅軍体制を固めるため陸軍次官に起用され、いわゆる新統制派の代表として軍政手腕をふるった。**

日中戦争始・1937 = 55歳 :

健保+総動員 1938 = 56歳 : 第1軍司令官として中国戦線に出動、

第二次大戦始1939 = 57歳 : **関東軍司令官に転じ、ノモンハン事件後の再建にあたり。この間、陸軍大将に昇進。**

太平洋戦争末期に至る約5年この地位にあったが、

年金+総武装 1944 = 62歳 : ***東条内閣の崩壊により、参謀総長に就任、終戦に至る困難な作戦指導を担当し、**

敗戦・・・1945 = **63歳** : ***ミズリー号上における降伏調印式に、大本営を代表して参列したが、A級戦犯に指名され、**

終身禁錮を宣告された。服役中病気により、

三大事件・・1949 = 67歳 : **没した。**